

福岡工業大学・福岡工業大学短期大学部

村山 理一 学長



## プロフィール

- 所属：学長（元知能機械工学科 教授）
- 学会：日本非破壊検査協会、日本工学教育協会
- 最終学歴：大阪大学理学研究科物理学専攻博士前期課程修了
- 研究分野：非破壊検査
- 職歴：住友金属工業(株)、2000年より本学
- 趣味：ジョギング、温泉旅行

## 研究者から学長へ——挑戦の連続だったキャリア

「びっくり仰天でした！」

学長就任が決まった時の率直な気持ちを尋ねると、村山学長は笑顔でそう答えた。研究者としてのキャリアは、物理学からスタートし、鉄鋼メーカーでの研究を経て機械工学へ飛び込んだ異色の経歴を持つ。学長としての挑戦もまた、これまでの経験とは異なるフィールドだった。

「失敗することは当たり前。でもそこからが本当のスタート。」

技術研究所で超音波を用いた非破壊検査の研究に取り組んでいた当時、機械工学は専門外だった。それでも、「目の前に講義をしてくれる人はいないから、自分で本を探して学ぶしかなかった」と振り返る。

学生時代も、本を5～10冊借りて講義を復習し、異なる視点から理解を深めていた。「わからないことがあっても、自分なりに考えて答えを導き出す習慣が身についた。」

この“自ら学ぶ姿勢”こそが、現在の教育方針にもつながっている。

## 学長としてのビジョン——「リーダーとなる人材を育てたい」

福岡工業大学の全国的な評価は高い。「東京の文科省の方から“私学のお手本”と評価された」と学長は誇らしげに語る。

今後、学生には「社会で役に立つ人材」から一歩進んで、「**リーダーとして社会を引っ張る人材**」になってほしいと期待を寄せている。

「小さく殻にこもる必要はない。どんどん挑戦してほしい。」

そのために、大学院では国際学会での発表や海外インターンシップを積極的に推進し、グローバルな視点を持つ高度専門職業人材の育成に力を入れる。大学院での学びを通じて、専攻分野の研究能力を深め、国際社会で活躍できる卓越したスキルを身につけて欲しい。

## 学生へのメッセージ：「努力・根気・感謝」を忘れずに

「失敗とは進行中の成功である。」

アインシュタインの言葉を引用しながら、村山学長は学生たちにエールを送る。自身もたくさんの失敗を経験し、その度に乗り越えてきた。

「人生を生き抜くためには、感謝を忘れてはいけない。」

そして、学長自身「やっておけばよかったこと」として、アルバイトの経験を挙げた。「人とのつながりを得るという点で、大学時代にやっておけばよかった。でも、ほどほどにね！」と冗談交じりに語る。

💡 **あなたならどうする？—未来に向けて挑戦しよう！**

村山学長のこれまでの歩みは、「**失敗を恐れず、努力を続けること**」の大切さを教えてくれる。

あなたは今、何に挑戦しているだろうか？

「**自分の可能性を信じ、あきらめずに進もう！**」

福岡工業大学の学生として、リーダーとなる未来を切り拓いていこう！

## 大学院生のリアルを紹介します！(Q&A)

### ■ 進学・キャリア

#### Q. 研究開発職などになるためには大学院に進学したほうがいいのか？

進学したほうが有利になることが多いです。実際に、あるメーカーの研究開発職のインターンシップに参加した際、全員大学院生でした。(企業によっては、修士以上じゃないと研究開発職に就けないとか、)

#### Q. 大学院に進学した理由は？

- ・研究開発職に就きたいから。
- ・学部の研究が面白いと思ったから。
- ・研究に関する基礎的なスキル(進め方や考え方)を身に付けたかったから。

### ■ 研究と生活

#### Q. 研究(授業)と就活は両立できる？

可能ですが、スケジュール管理が重要です。平日は研究と授業に集中し、土日は就活や課題を進めるようにしていました。

#### Q. 大学院で身に付く力は？

計画的に物事を進める力や問題解決能力、論理的思考力が身につきます。また、授業や学会発表を通じてプレゼンテーション能力も向上します。

#### Q. 研究室内のコミュニケーションは活発？

私の研究室では、週2回のゼミで最新の研究について議論し、多角的な意見をもらえます。後輩を指導したり雑談したりする機会も多く、交流は活発です。この過程で知識が深まり、伝え方を工夫する力も身につきます。

#### Q. 研究テーマの決め方は？

- ・学部3年次のゼミで先輩の進捗報告を聞き、興味を持ったテーマを選びました。(月野)
- ・半導体業界の研究開発職に就きたいので、関連する研究テーマにしました。(岩谷)
- ・教授に興味のあることを相談しながら決めました。(坂元)
- ・材料・電気・機械と幅広い知識が求められるため、自分のスキルを高められると思い、発電に関するテーマを選びました。(萩原・村上)

### ■ ライフスタイル

#### Q. 休日はどう過ごしている？

最近はゲームをしたりアニメを見たりして過ごしています。ただ、就活や授業の課題、学会の準備があるときは、ほとんど休日がなかったように感じます(笑)

#### Q. 学部と大学院の違いは？

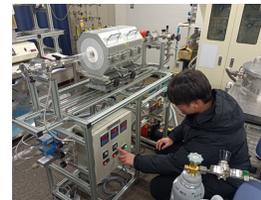
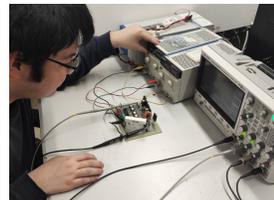
学部では授業中心でしたが、大学院では研究がメインになります。自由度が高い分、自己管理が求められるのが大きな違いです。

## 大学院生の年間スケジュールってどんな感じ？

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年	研究	授業			学会	授業							
	その他	TA(学部生への授業支援)						TA(学部生への授業支援)					
	その他				インターンシップ		院生交流		インターンシップ		就職活動		
2年	研究	TA(学部生への授業支援)			学会	TA(学部生への授業支援)							
	その他	就職活動				中間発表	論文作成・発表						
	その他						院生交流						

主に授業や研究を行いながら学会発表・論文作成に励んでいます。今回は研究、学会、イベントの様子を紹介します！

### 研究



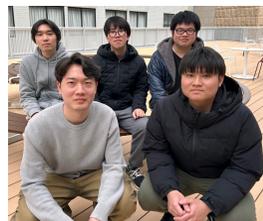
### 学会

学会発表への準備は大変ですが、国内外のさまざまな場所に行けて、大学の支援で旅費が出るのも魅力です。安心して発表に臨めます。



#### 制作チーム

- (写真上段左から)  
 月野峻佑 (情報システム)  
 村上拓海 (知能機械)  
 坂元圭佑 (電子情報)  
 萩原一騎 (知能機械)  
 岩谷光 (電子情報)  
 (全員修士課程1年)



#### 編集後記

月野：大学院進学は将来の選択肢を広げるチャンスです。ぜひ検討してみてください！！

村上：大学院は、研究や就活でたくさん失敗してその分成長できる環境だと思います。

坂元：大学院では卒業研究より長く研究ができます。ものづくりをしたい人は大学院で経験を積んでみませんか？

萩原：研究に没頭できる時間は貴重です。今だからこそできる学びを大切にしてほしいです！

岩谷：大学院の魅力はまだあります！先輩や教授にもお話を聞いてみてください。

### 院生交流(大学院BBQ)



研究室、専攻の枠を超えた交流ができます。新たな研究に発展することもあります。